

2014 年 2 月 24 日

新ビジネスモデルを通じて中小食品企業の再成長を目指す (株) ヨシムラ・フード・ホールディングスへの出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、複数の国内中小食品企業を傘下に収め、グループが保持するプラットフォームを活用することで各社の再成長に取り組んでいる株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（以下「ヨシムラ・フード HD」）（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO 吉村元久）に対し、今後の追加買収及び事業体制強化に必要な資金として 9 億円を上限とする出資を行うことを決定しました。

食品関連産業は製造業における国内総生産の最大の割合を占める重要な産業であるにも関わらず、人口減少等を背景に 90 年代後半以降縮小しつづけ、過当競争が進んでいます。中小・零細企業が多い食品製造業では本来生き残るべき中小企業も後継者不在による廃業が増えており、M&A による継承余地が増加傾向にあります。

ヨシムラ・フード HD は成長可能性がありながらも単独では成長が難しい中小食品企業に注目し、M&A によってこうした企業を傘下に収め、ヨシムラ・フード HD のプラットフォームによってお互いの強みを生かし、弱みを補完し合い、再成長する新しいビジネスモデルを構築しています。グループとしてのプラットフォームを構築することで、売上拡大、コスト削減、経営の質向上の 3 つの領域でグループシナジー創出を目指しています。ヨシムラ・フード HD では、既に 6 社の中小食品関連企業を傘下に収めていますが、新たな中小食品関連企業の M&A についても具体的な検討が進行中です。

中小食品企業一社一社の経営改善余地は大きく、ヨシムラ・フード HD の傘下に入ることで、経営ノウハウを取り入れる機会が生まれるだけでなく、今まで限定的な地域展開に留まっていた企業も全国展開できるようになるなど、プラットフォームの活用による再成長の余地は大きいと考えています。また、日本の食品産業は安心・安全といった観点から海外でも高く評価されており、一社単独では難しい海外進出も、将来的にはグループとして追及していくことを視野に入れています。

今後、後継者不足に起因して、中小食品企業の事業継承の機会は増加すると考えられており、ヨシムラ・フード HD はこれからも再成長が期待できる企業の買収に積極

的に取り組んでいく予定です。

INCJ は、ヨシムラ・フード HD に対し、中小食品関連企業の更なる買収や事業体制強化に必要な資金を供給するとともに、社外取締役の派遣、事業戦略検討支援等の経営サポートを行います。INCJ は上記の取り組みを通じて、同社の事業が、食品製造業における新たな業界再編を促進し、ひいては他業界も含めた中小企業再成長モデルの呼び水となるよう支援してまいります。

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングスについて

設立	2008 年 3 月
事業内容	複数の中小食品関連企業を傘下に収め、経営改善・再成長に取り組む「プラットフォーム企業」
本社所在地	東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 18 階
代表取締役 CEO	吉村 元久（よしむら もとひさ）
HP	http://y-food-h.com/

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 59 件・総額約 7,000 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構（INCJ） 企画調整室 伊藤・望月・畑
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階
電話：03-5218-7200（大代表）